

昆虫共生酵母研究会主催シンポジウム

生物の共生進化を考える

主催：昆虫共生酵母研究会

共催：医用分光学研究会，島根大学 COC 事業，島根大学生物資源科学部ミッション推進室，
島根大学重点研究プロジェクト，島根大学医・生物ラマンプロジェクトセンター

日時：平成 27 年 6 月 1 日(月)13:00~17:50，2 日(火)9:30~12:45

場所：島根大学生物資源科学部 1 号館 2 階 203 会議室

入場無料
申込不要

島根大学では，平成 25 年度から「地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)」を進め，生物資源科学部では，ミッション推進室を設置して，「沿海・汽水域の生物資源の利活用」に関する研究等をミッション課題として進めています。そうした研究の一環として，昆虫共生酵母研究会との共催により，「生物の共生進化を考える」をテーマとしたシンポジウムを開催することとしました。本シンポジウムは，医用分光学研究会，島根大学重点研究プロジェクト，医・生物ラマンプロジェクトセンターが共催して，広く市民に公開して開催いたします。

真核生物は，複数の原核生物の細胞内共生によって成立しました。真核生物同士あるいは，真核生物と原核生物が，物理的に接触する環境で共に生き，相互に依存する生物の生き方は，「内部共生」「細胞内共生」と呼ばれます。これらの共生は，高度な相互依存性により成立しており，新たな生物機能の創出が行われることもしばしばで，真核生物進化の原動力とも言えるものです。こうして起こる進化を「共生進化」と言います。

昆虫共生酵母研究会は，生物の共生進化を，物理化学，特に分光学の視点を加えて解明することを目的として活動しています。シンポジウムへの多くの方のご参加をお待ちするとともに，活発な議論を期待しています。

実行委員長 山本 達之

6 月 1 日(月) 13:00~17:50

共生進化がもたらす昆虫類の多様性 深津 武馬 (産業技術総合研究所)

クワガタムシの菌嚢と共生酵母 棚橋 薫彦 (産業技術総合研究所)

織毛虫ミドリゾウリムシと緑藻クロレラとの細胞内共生 児玉 有紀 (島根大学生物資源科学部)

分子レベルで生命を観る 濱口 宏夫 (臺灣國立交通大學理學院)

昆虫の水分調節とその細胞生理 東 政明 (鳥取大学農学部)

6 月 2 日(火) 9:30~12:45

昆虫モデルを利用した細菌-宿主相互作用の解明 垣内 力 (東京大学大学院薬学系研究科)

性決定遺伝子で探る甲虫の角形成 新美 輝幸 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

チョウ類の季節および環境適応 山中 明 (山口大学大学院医学系研究科)

問合せ：実行委員長 山本 達之 (島根大学生物資源科学部)

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 電話 0852-32-6551 E-mail tyamamot@life.shimane-u.ac.jp